

日刊 動労千葉

86.11.28

No. 2417

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七二・〇七

「法案が成立したとしても「分割・民営化」を受け入れるわけにはいかない

法案強行弾劾、分割・民営化絶対反対 11・30国鉄労働者全国交流集会

（302）

中曽根・自民党は、国会審議に示されるように、十万人首切りと国鉄労働運動の破壊を暴力的に押しとおそうとしている。屈服と裏切りをもかさねる総評・社会党・共産党に委ねておいていいわけがない。国鉄労働者が自らたつて闘うことによつてこそ「国鉄改革」の矛盾は暴きだされ、勝利の展望が切り拓かれている。今こそ実力反撃にたとう。

何んのための分割・民営化か

さきの衆院本会議で国鉄法案可決後、マスコミはこぞつて、「未解決の問題、山積」「新会社経営、三島・貨物」「赤信号」「私鉄との競合・関連事業進出—本社三社にも課題」などと報じている。「何も解決してしまえ」とまでいっている。

にもかかわらず、「新会社はバラ色」とハシヤギたて、自民党・国鉄当局と一体となつて国鉄解体だけを唯一の運動としている動労革マルや鉄労などの「改革協」は、この希代の悪法—国鉄法案審議の促進を要求してきたのだ。

「新会社」は経営破綻—労働地獄

いま、「協議会・動労・鉄労」などで構成する「全日本鉄道労働組合総連合会（鉄道労連）」発足にむけて、「東日本旅客鉄道労働組合結成を進める会」をデッチあげた。

「進める会」は結成にあたって「新しい労働組合と新しい経営者による新しい労使関係を創り上げることによって、鉄道事業を発展させ、社会的責任を果すとともに、そこに働く私たち自身の俸せを實現する」ことを趣旨としている。

そして、新しい労働組合の綱領を「労使協調、合理化・首切り推進、君が代・日の丸・安保賛成、自衛隊支持を掲げて「共産主義と対決する」とうたっているのだ。

この綱領を掲げた「新労組」がバラ色といつてやまない「新会社」は遅からず経営破綻に陥り、すさまじい合理化、首切り、低賃金、労働強化などの「地獄」に「新組合」自らが率先して労働者をたきこもりしているのだ。

国鉄分割・民営化 なお関門

未解決の問題 山積

国鉄改革 なるものなし

長期債務処理でも難問 中央省庁は及び腰

出口なし 共済年金

区域異動対策も不十分

国民に回すツケ 具体策示せぬ政府

審議不足で先見え

1人当たり 12万2500円

自然発生的に発生する未解決問題

三島線貨物列車の増設

三里塚二期着工

共産主義と対決する

君が代・日の丸・安保賛成

自衛隊支持を掲げて

労使協調、合理化・首切り推進

君が代・日の丸・安保賛成

自衛隊支持を掲げて

「共産主義と対決する」とうたっているのだ。